

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和5年度第5回）議事概要

日時：令和5年8月25日（金）10：30～12：00

場所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用

出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、北川雄光理事、平沼直人理事、
山内英子理事、本田麻由美理事、小野高史監事、近藤浩明監事、
島田中央病院長、大津東病院長

I. 前回（令和5年度第4回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・前回議事録署名人を平沼理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

1. 国際がん研究機関(IARC)とのプロジェクト覚書締結について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ANCCAには東南アジア諸国をはじめトルコまで幅広い国々が参加している。これを機にアジア地域におけるがんの実態を把握する上で今後の国際戦略上も重要な意義があると考えている。

III. 報告事項

1. 収賄容疑による起訴事案に関する調査委員会及び公判の状況について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・被告への判決が確定した後メディア等から問い合わせが来た場合の対応方針はどのように考えているのか。また、判決が確定したことに対してホームページ等で報告するのか。
- 当方は事件の当事者ではなく関係者であるため、判決の確定について裁判所や検察庁から直接通知が来ることは無い。判決が確定したことを以てメディア等が取り上げるかどうかについては分からないが、メディア等からの照会については丁寧に対応したい。なお、8月10日に判決が言い渡された際には、メディア等からの照会を想定して、理事長からのコメントを用意し照会に対応した。今後、最終報告の公表に向けた準備を進める。

2. 決算業務改善ワーキンググループ（決算の適正化）令和4年度決算報告について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・令和4年度の決算において、財務諸表数値確定は6月12日で、昨年の令和3年度決算時は6月20日であったため、改善はできている。ただし、固定資産会計処理の誤りについてはまだ見落としがある状況である。引き続き、決算処理の質の改善に努めていただきたい。

3. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・政府系会議の中でも特に小児がん分野での治療薬開発の推進について方針決定されたことを受け治療薬開発が活性化されることを期待したい。

4. 広報実績等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ホームページの閲覧数は先月比で増えている状況だが、最近の傾向として増えているのか。
- 最近の閲覧数増加は新しい情報への更新が増えていることも影響している。ページの更新を頻繁に行うことで検索ツールにかかりやすくなっていると考えられる。

5. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・増員案件については外来化学療法の実施に伴う外来体制の強化ということでセンター全体に関わることになる。基本的な考え方を整理しつつ進めたい。

6. 7月分医業件数等

資料に沿って報告された。

7. その他

【主な意見等】

- ・先日がん対策研究所より、予防可能ながんによる経済的損失に関して公表されたが、これは今般、メディアへの情報提供についての方針を変更したことが影響しているのか。
- これまでもがん対策に資するような情報については情報公開を続けてきた。組織改編によりがん対策研究所を設立したことに伴い、がん対策の視点から政策提言、またその先の実施状況についてモニタリングを行いながら積極的に働きかけるという役割も求められている。また、子宮頸がんのファクトシート等、日本のがん対策において課題とされている事項について積極的に情報発信を続け、国民のリテラシーを高めていくことなどをセンターとして目指している。職員一人ひとりの意識も強くシフトしていると感じている。今後も厚生労働省とも協力しつつ、NCCとして果たすべき役割を強く意識していきたい。
- IARC との MOU 等も含めて、積極的な発信を今後とも継続していただきたい。
- 本プレスリリースについては、がん対策研究所の要望により、プレスリリースと記者会見を同時に行った。この影響もあって、多くのメディアで取り上げていただいた。次回の理事会でも報告させていただく予定である。